

# 令和5年度 第1回 大牟田市地域公共交通活性化協議会

## [報告事項]

### (1) 令和5年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価について

#### <目次>

1. 令和5年度事業 地域内フィーダー系統 九州運輸局 二次評価について・・・・・・・・・・1
2. [参考] 令和5年度事業 地域間幹線系統 九州運輸局 二次評価について・・・・・・・・・・3

## 地域内フィーダー系統

評価対象事業名：地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

## 大牟田市地域公共交通活性化協議会：一次評価

九州運輸局：  
二次評価令和6年2月29日  
九州運輸局

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前目(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
大牟田市地域公共交通活性化協議会	西鉄バス大牟田(株)	米の山・黒崎団地線(18番系統) ●西鉄大牟田営業所～大牟田駅前 ～黒崎団地前 ●大牟田駅前～新栄町～黒崎団地前 ●新栄町～手鐘～黒崎団地前	【新型コロナウイルス以外の影響について】 コロナ前からの人口減少による利用者の減少(コロナ禍による生活様式の変化(外出機会の減少)がコロナ5類移行後も定着している事による利用者の減少 上記の要因から、外出機会を創出するため以下の取り組みを実施。 -路線バスを含む公共交通デジタルスタンプラリーを実施した。 -バスを身近に感じてもらう取組の一環として、小学校の低学年を対象にしたバスの乗り方教室を実施した。 -石炭産業科学館でバス運転手体験とバス乗車体験を実施した。 -おおむた大牟山まつり100円バスを実施した。	A	C	新型コロナウイルス移行により、当路線の利用が戻りつつあるが、時間帯によっては、空に近い状態で運行を行っている現状があることから、適切な回数やダイヤについて検討し、運行の効率化を図る。 また、免許返納等、自家用車利用から公共交通への転換を図るような施策との連携など、効果的な取組みを実施し利用者増を目指す。	評価の指標は、系統別の利用者数、外出機会を創出するための利用促進に取り組まれていることを評価します。 前年度より利用者数は増加しているものの、前年度に引き継ぎ全ての系統が目標を下回る結果となったことから、各系統の状況を分析し協議会が掲げる今後の改善点のとおりに目標値の見直しをされることをお願いします。 引き続き、利用促進に取り組んでいただくとともに、事業の今後の改善点に挙げられた取組及び地域公共交通計画の施策を確実に実施していただくことにより、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
		米の山・黒崎団地線(10番系統) ●西鉄大牟田営業所～市立病院～普光寺 ●西鉄大牟田営業所～大牟田駅前～米の山 ●大牟田駅前～普光寺 ●大牟田駅前～米の山 ●西鉄大牟田営業所～大牟田駅前～普光寺	同上 -普光寺のバス降で降車の際に配布される抽選券で特産品が当たるイベントを実施した。	A	C	同上		
		上笠線(16番系統) ●ゆめタウン大牟田～菅林～倉掛 ●ゆめタウン大牟田～菅林～万田坑 ●ゆめタウン大牟田～菅林～万田坑	【新型コロナウイルス以外の影響について】 コロナ前からの人口減少による利用者の減少(コロナ禍による生活様式の変化(外出機会の減少)がコロナ5類移行後も定着している事による利用者の減少 上記の要因から、外出機会を創出するため以下の取り組みを実施。 -路線バスを含む公共交通デジタルスタンプラリーを実施した。 -バスを身近に感じてもらう取組の一環として、小学校の低学年を対象にしたバスの乗り方教室を実施した。 -石炭産業科学館でバス運転手体験とバス乗車体験を実施した。 -おおむた大牟山まつり100円バスを実施した。	A	B	新型コロナウイルス移行により、当路線の利用が戻りつつあるが、コロナ以前から利用の少ない当路線に対して、引き続き利用促進事業を行い、免許返納等、自家用車利用から公共交通への転換を図るような施策との連携など、効果的な取組みを実施し利用者増を目指す。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

## 地域内フィーダー系統

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー)

## 大牟田市地域公共交通活性化協議会：一次評価

## 九州運輸局： 二次評価

令和6年2月29日  
九州運輸局

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
		大牟田市内線(1番系統) ●西鉄大牟田営業所～大牟田駅 ～三池中町 ●西鉄大牟田営業所～大牟田駅 ～久福木田地	同上	A	C	路線の見直しにより、運行便数が大幅に削減されたため、目標値には達しないものの、新型コロナウイルス移行により、当路線の利用が昨年と比べ増加している。このことから、当路線にあった目標値の設定を行うほか、コロナ以前から利用の少ない当路線に対して、引き続き利用促進事業を行い、免許返納等、自家用車利用から公共交通への転換を図るような施策との連携など、効果的な取組みを実施し利用者増を目指す。		
		吉野線(57番系統) ●西鉄大牟田営業所～橋交差 点・大牟田病院前～西鉄大牟田営業 所 ●西鉄大牟田営業所～橋交差 点・大牟田病院前～大牟田市立病院 ●大牟田市立病院～橋交差点・大 牟田病院前～大牟田市立病院	同上	A	C	目標値には達しないものの、新型コロナウイルス移行により、当路線の利用が昨年と比べ増加している。また、新大牟田駅への利便性を向上するため、R5年11月より新大牟田駅に接続を行っている。今後は利用に応じた適切なダイヤ、便数の設定を検討するほか、引き続き利用促進事業を行い、免許返納等、自家用車利用から公共交通への転換を図るような施策との連携など、効果的な取組みを実施し利用者増を目指す。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日

九州運輸局

## 地域間幹線系統

九州運輸局：  
二次評価

評価対象事業名：地域公共交通確保維持改善事業(地域間幹線系統)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
福岡県バス対策協議会	堀川バス㈱ 昭和自動車㈱ 西鉄バス佐賀㈱ 西鉄バス佐賀㈱・西鉄バス久留米㈱ 西鉄バス久留米㈱ 西鉄バス筑豊㈱ 西鉄バス宗像㈱ 西鉄バス大牟田㈱ 西鉄バス北九州㈱ 西鉄バス二日市㈱ JR九州バス㈱ ㈱甘木観光バス	51系統 ※詳細は別添一次評価のとおり	別添一次評価のとおり	A評価：36系統 B評価：15系統 C評価：0系統	A評価：25系統 B評価：22系統 C評価：4系統  【参考：前年度】 A評価：13系統 B評価：26系統 C評価：11系統	別添一次評価のとおり	<p>コロナの影響が残る中、また人手不足の影響が大きくなる中においても、企画乗車券の販売、イベントとのタイアップ、バスの乗り方教室の開催、時刻表や沿線情報チラシの配布を行う等利用促進に取り組まれていること、路線やダイヤの再編・見直しを行い利便性の向上、観光需要の取り込み、運行の効率化に取り組まれていることを評価します。</p> <p>目標達成に向けた今回の取組みについては、具体的な取組みの結果やその効果に加え、工夫した内容などについても記録されると、より効果的な改善につながるものと思慮されます。</p> <p>目標を達成できた系統と達成できていない系統がありますが、それぞれの要因について分析し、評価書に記録することは重要です。多くの系統において人口減少やコロナ・燃料高騰の影響を受けていますが、地域の実情を考慮のうえ、その他に原因がないかどうかについても分析し、その他要因への改善点を検討いただくと、より効果的な改善につながることを期待されます。</p> <p>さらに、目標を達成できた系統、要因の分析や取組みの改善が良くてきている系統については、他系統においても参考・活用されることを期待します。</p> <p>今後は、アフターコロナを見据えた目標設定や評価指標の見直しも検討いただきながら、県と市町村が連携を図り事業者や住民と共に地域の生活交通の実情のニーズを的確に把握しつつ、地域の特性・実情に最適な交通手段が確保・維持されることを期待します。</p>	評価指標 【収支率】 【輸送人員】

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
西鉄バス大牟田(株)	西鉄大牟田営業所～大牟田市立病院・上町～庄山	◇実施できたこと ・イベント、バス教室を通したバス出展やチラシの配布 ・利用促進事業の実施 ・おおむね1日乗り放題きっぷの発売延長 ・デジタルスタンプラリーの実施 ・シーズン毎のバス車内装飾  ◇実施できなかったこと ・沿線住民へのポスティング	事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった。  B イベントでのチラシ配布・商業施設へのチラシの持ち込みに注力し、沿線住民へのポスティングの実施は見送った。	【目標】(対:令和3年度実績) ・収支率23.0% ・輸送人員19,818人  A  【実績】(対:令和3年度実績) ・収支率30.40%(+8.4%) ・輸送量28,861人(+9043人)	令和6補助年度にて、福岡県MaaSの取り組みに参加。有明エリア(大牟田・柳川・みやま)の自治体・交通事業者と連携し、スマホアプリ「my route」を活用した企画乗車券を造成予定。今後PRを行い、利用促進を図る。
西鉄バス大牟田(株)	西鉄大牟田営業所～大牟田市立病院・新大牟田駅～南関	◇実施できたこと ・イベント、バス教室を通したバス出展やチラシの配布 ・利用促進事業の実施 ・おおむね1日乗り放題きっぷの発売延長 ・デジタルスタンプラリーの実施 ・新大牟田駅での電車接続の見直し ・シーズン毎のバス車内装飾  ◇実施できなかったこと ・沿線住民へのポスティング	事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった。  B イベントでのチラシ配布・商業施設へのチラシの持ち込みに注力し、沿線住民へのポスティングの実施は見送った。	【目標】(対:令和3年度実績) ・収支率35.7% ・輸送人員101,429人  A  【実績】(対:令和3年度実績) ・収支率37.47%(+2.77%) ・輸送量112,830人(+11,401人)	令和6補助年度にて、福岡県MaaSの取り組みに参加。有明エリア(大牟田・柳川・みやま)の自治体・交通事業者と連携し、スマホアプリ「my route」を活用した企画乗車券を造成予定。今後PRを行い、利用促進を図る。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
西鉄バス大牟田(株)	荒尾駅～右京町～久福木団地	<p>◇実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント、バス教室を通したバス出展やチラシの配布</li> <li>・利用促進事業の実施</li> <li>・おおむね1日乗り放題きっぷの発売延長</li> <li>・デジタルスタンプラリーの実施</li> <li>・シーズン毎のバス車内装飾</li> </ul> <p>◇実施できなかったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沿線住民へのポスティング</li> </ul>	<p>B</p> <p>事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった。</p> <p>イベントでのチラシ配布・商業施設へのチラシの持ち込みに注力し、沿線住民へのポスティングの実施は見送った。</p>	<p>A</p> <p>【目標】(対:令和3年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収支率62.1%</li> <li>・輸送人員120,640人</li> </ul> <p>【実績】(対:令和3年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収支率65.17%(+4.07%)</li> <li>・輸送量117,169人(△3,471人)</li> </ul>	<p>令和6補助年度にて、福岡県MaaSの取り組みに参加。有明エリア(大牟田・柳川・みやま)の自治体・交通事業者と連携し、スマホアプリ「my route」を活用した企画乗車券を造成予定。今後PRを行い、利用促進を図る。</p>
西鉄バス大牟田(株)	荒尾駅～天領橋～三池中町	<p>◇実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント、バス教室を通したバス出展やチラシの配布</li> <li>・利用促進事業の実施</li> <li>・おおむね1日乗り放題きっぷの発売延長</li> <li>・デジタルスタンプラリーの実施</li> <li>・シーズン毎のバス車内装飾</li> </ul> <p>◇実施できなかったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沿線住民へのポスティング</li> </ul>	<p>B</p> <p>事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった。</p> <p>イベントでのチラシ配布・商業施設へのチラシの持ち込みに注力し、沿線住民へのポスティングの実施は見送った。</p>	<p>A</p> <p>【目標】(対:令和3年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収支率56.7%</li> <li>・輸送人員88,660人</li> </ul> <p>【実績】(対:令和3年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収支率68.26%(12.56%)</li> <li>・輸送量116,207人(+27,547人)</li> </ul>	<p>令和6補助年度にて、福岡県MaaSの取り組みに参加。有明エリア(大牟田・柳川・みやま)の自治体・交通事業者と連携し、スマホアプリ「my route」を活用した企画乗車券を造成予定。今後PRを行い、利用促進を図る。</p>

## (判断基準)

【国土交通省事業評価に関するガイダンスより】

### ○事業実施の適切性

事業計画に基づく事業が適切に実施されたかを、A, B, Cの3段階で評価する。計画どおり実施されなかった場合は、理由等を明らかにする。

- A・・・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された
- B・・・事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった
- C・・・事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった

### ○目標・効果達成状況

事業計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成された（達成される見込み）かを、設定した目標ごとにA, B, Cの3段階で評価する。目標・効果が達成できなかった（達成できない見込み）場合には、理由等を分析の上明らかにする。

- A・・・事業が計画に位置づけられた目標を達成した（する見込み）
- B・・・事業が計画に位置づけられた目標を達成できていない点があった（一部達成できない見込み）
- C・・・事業が計画に位置づけられた目標を達成できなかった（達成できない見込み）

【大牟田市地域公共交通活性化協議会】

### ○目標・効果達成状況

- A・・・事業が計画に位置付けられた目標を達成した（利用者数が目標値以上）
- B・・・事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった  
（利用者数が目標値と比較して、95%以上目標値未満）
- C・・・事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった  
（利用者数が目標値と比較して、95%未満）